

科学技術と現代社会

第1回 ガイダンス

田中浩朗
(東京電機大学)

ガイダンスの内容

1. 講義のテーマ・内容・スケジュール
2. 講義の目的・目標
3. 教材
4. 学習の進め方
5. 成績評価

シラバス

- シラバスは「授業サイト」に掲載
- 授業サイト:
<http://sitetanaka.net>
- ホーム > 科学技術と現代社会(月金) > シラバス

1. 講義のテーマ・内容・ スケジュール

授業のテーマ・内容

- 核兵器の歴史
 - ◆ 核兵器の開発, 使用, 影響
 - ◆ 関係者(科学者を含む)の考えと行動
 - ◆ 科学技術との関わり方

2. 講義の目的・目標

講義の目的

- 科学技術をめぐる問題(核問題)について多面的に考察し, 総合的に判断する力を養う
- 学習スキルやコミュニケーション力を高める

3. 教材

授業サイト

http://sitetanaka.net

ホームページ

siteTanaka.net 田中浩朗の授業サイト

2014年度 前期
2014年3月24日公開

検索...

HOME 科学の社会史 科学技術と現代社会(月金) 科学技術と現代社会(水) ヘルプ

科学の社会史

この科目の目的は、古代から現代までの科学の歴史を社会的側面から理解し、現代に生きる科学者・技術者の社会的な役割や責任について自らの考えを深めることです。そのため、古代から現代までの科学史の中から重要なトピックスを選び、科学と社会の関係が歴史的にどのように変容していったかについて解説します。【→シラバスを見る】

水3クラス 水7クラス 金1クラス

科学技術と現代社会（月金）

この科目の目的は、現代社会において問題となっている科学技術を取り上げ、それを多面的に考察することにより、科学技術に関する理解を深めることです。今年度は、人類を絶滅させるほどの力を持つ「核兵器」をテーマとして設定し、核兵器に関わった人々、特に核開発の中心にいた科学者たちの考えや行動とその結果について学んでいきます。【→シラバスを見る】 ※工学部・未来科学部開講科目

月2クラス 金2クラス

科学技術と現代社会（水）

この科目の目的は、現代社会において問題となっている科学技術を取り上げ、それを多面的に考察することにより、科学技術に関する理解を深めることです。今年度は、人類を絶滅させるほどの力を持つ「核兵器」をテーマとして設定し、核兵器に関わった人々、特に核開発の中心にいた科学者たちの考えや行動とその結果について学んでいきます。【→シラバスを見る】 ※工学部・未来科学部開講科目

水6クラス

授業サイト

http://sitetanaka.net

授業SNS

siteTanaka.net 科学技術と現代社会(月2) 2014年度前期 月曜2限 21005教室 田中浩朗 担当

HOME 科学技術と現代社会(月金) **授業SNS** 課題 談話室 コメント 投稿数 受講者 ヘルプ ログアウト

 田中浩朗さん, 書き込みをどうぞ。

すべてのメンバー **4** 宛名付き

 RSS 表示:

 田中浩朗 2014/03/29 12:33

授業SNSへようこそ！
ここでは、受講者のみなさんが、この授業に関係することを自由に書き込むことのできるコミュニケーションの場です。また、書き込んだことは残りますので、学習記録の場ともなります。
お気に入り機能を使って、自分だけのセレクションを作れば、自分と他の受講者の書き込みによる講義ノートを作ることでもできるでしょう。
何か便利な使い方を見つけたら、みんなに教えてください！
なお、ここを使うには登録が必要ですが、その作業は第2回授業で行います。

コメント **0** お気に入り 削除

授業SNSの使い方

- ログイン：書き込みをするには、まずログインする。
- 授業ツイートの投稿：空欄にメッセージを書き込み、「投稿する」ボタンをクリックする。
- 授業ツイートの内容：挨拶、質問、回答、感想、意見、メモ、情報提供など。長さは、短くても長くてもOK。質問には、宛名@qを付ける。質問を見る

4. 学習の進め方

本科目での学習の進め方

授業中

- 講義を聴く
- ビデオを観る
- 授業SNSを用いて、授業ツイートを読み書きする

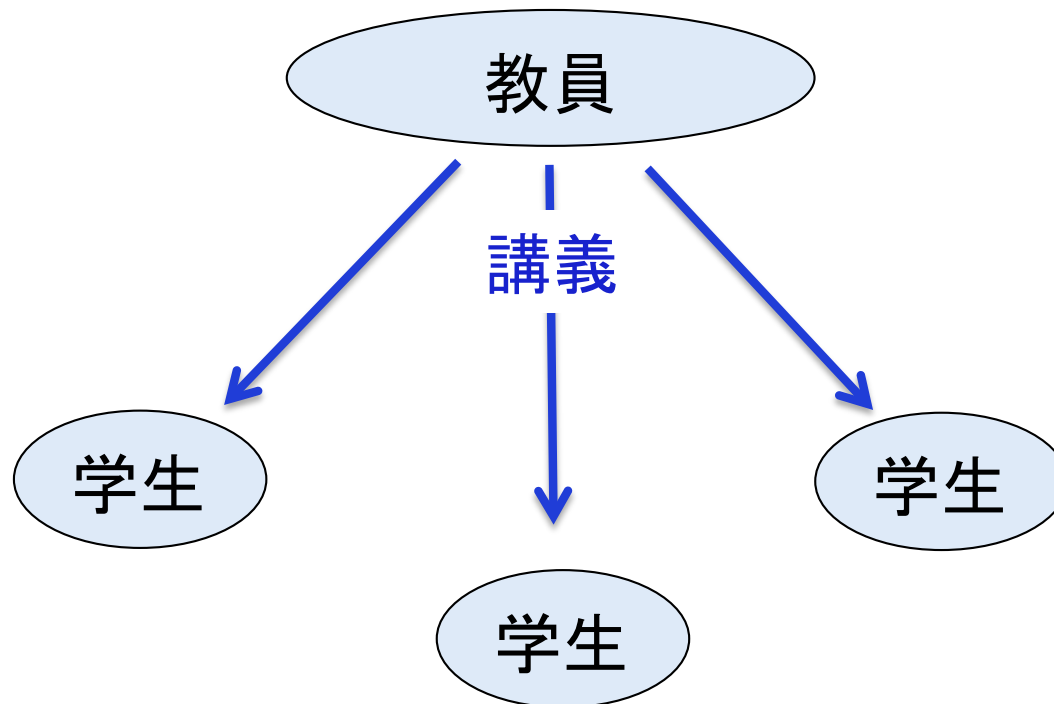


授業後

- 他の受講者の書き込みを読み、コメントを書く
- 各回課題を授業サイトに書き込む

教員と学生の関係

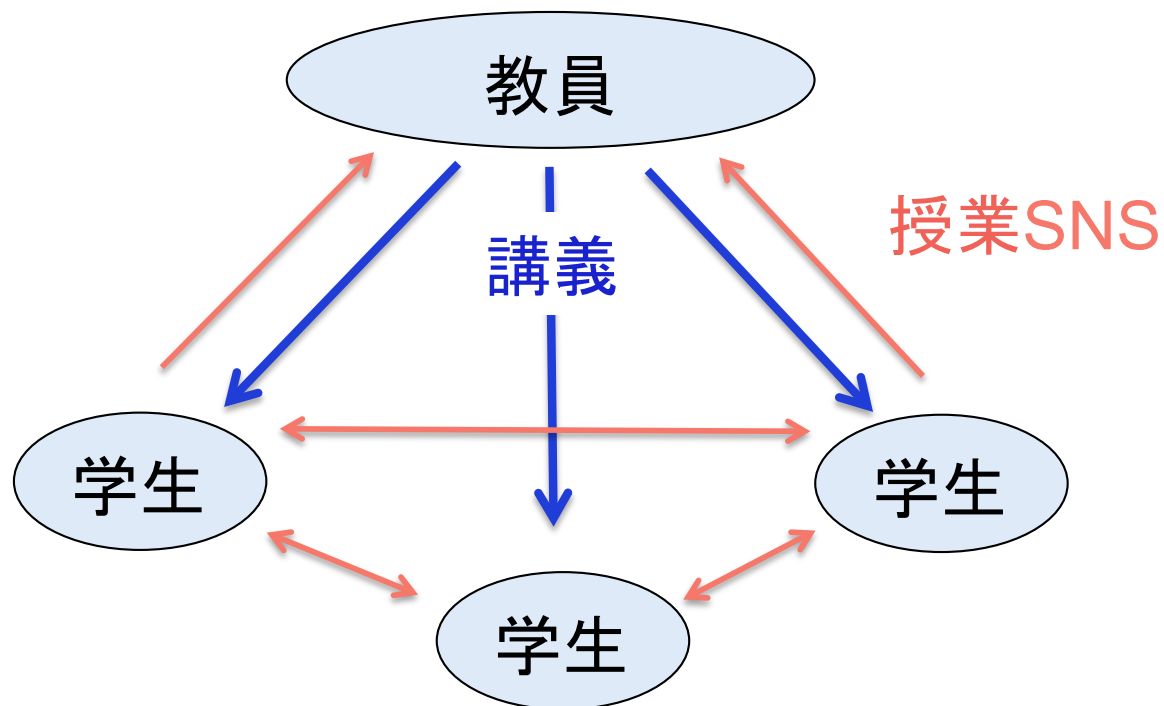
「従来型の授業」



一方的に聴くだけ

教員と学生の関係

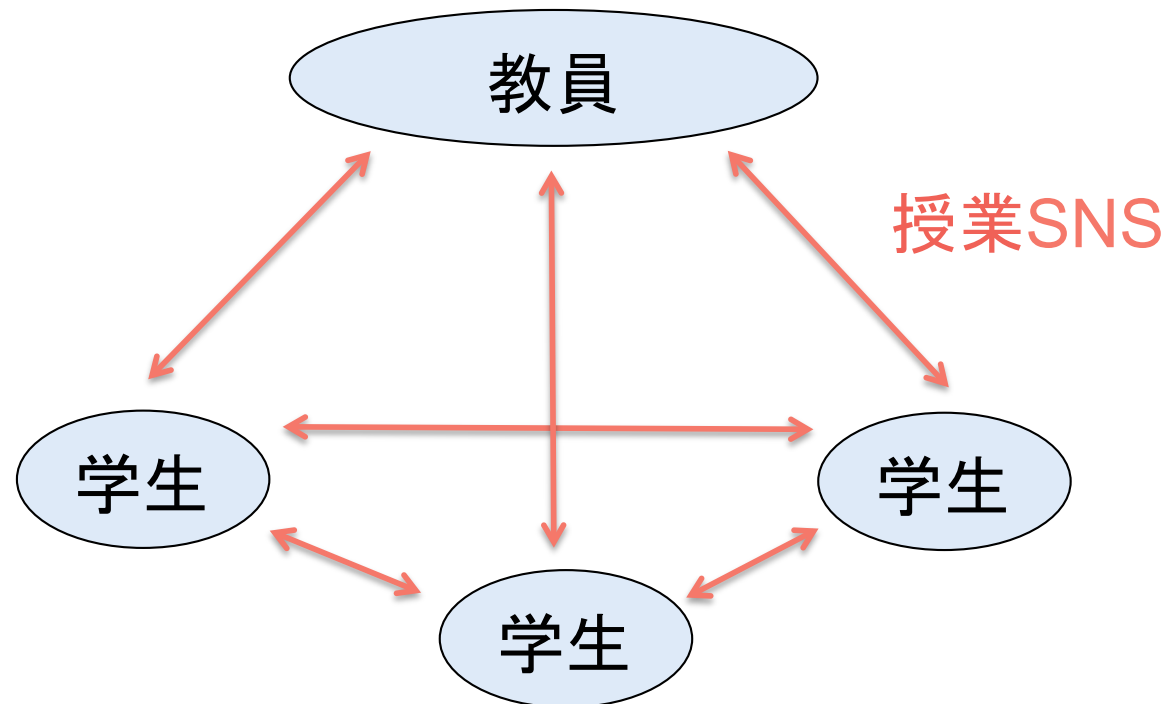
〔授業中〕



授業中、常に交流できる

教員と学生の関係

「授業時間外」



授業時間外も交流できる

5. 成績評価

成績評価方法

- 「授業サイト」への書き込みのみで評価
 - ◆ 授業ツイート(30%) 授業中4個以上
 - ◆ コメント(15%) 授業中・授業後各回2個以上
 - ◆ 課題(40%) 各回授業後
 - ◆ 教員点(15%) 教員が選んだ書き込み

重要な注意事項(抜粋)

- 単位を取るための必須条件
 - ◆ 【出席】 9回以上(カードリーダーで確認)
 - ◆ 【課題】 8回以上提出
- 剽窃(盗作)は厳禁
 - ◆ 赤江雄一氏のビデオ「剽窃について」を参照

次回は...

- 授業サイトへの登録作業を行います
→ パソコン等のウェブとメールが使える機器
を持参すること！



パソコンやタブレット端末を推奨

科学技術と現代社会

- 2回目のガイダンスは, 19時00分頃～